

重度四肢外傷 ケースで学ぶ実践ハンドブック 現場で役立つマスターガイド

J-SWAT・編

【評者】 前川尚宜 (奈良県立医科大学准教授・救急医学)

B5判・208頁
2025年6月
定価：8,800円
(本体8,000円＋税10%)
ISBN978-4-260-06025-7
医学書院 刊



いざ、重度四肢外傷の患者さんが目の前に現れたとき、あなたは自信を持って対応できますか？外傷の最前線に立つのは、後期研修医や人工関節などの他領域を専門とする先生であることが少なくないかと思います。重度四肢外傷の初期治療という重要な治療を、自信を持って進めることができるでしょうか？残念ながら、「はい」と即答できる先生は少ないのが現状でしょう。

かつて、ベテラン医師たちも明確な教科書がないまま重度四肢外傷の治療について試行錯誤を繰り返してきました。そんな中、土田芳彦先生が立ち上げたJSETS(日本重度四肢外傷シンポジウム)などでの議論を経て、重度四肢外傷の治療が多くの先生方に広まり、現在の日本では重度四肢外傷の治療は標準化されつつあります。またその中で治療戦略を共有し適切な初期治療を行い、必要であれば専門家に任せるといった治療戦略があるということも明確になってきました。しかしその標準的治療に関する知識は、“本当に必要な人々の手元に届いているのでしょうか？”

この現実を変えるため、J-SWAT(Japanese Severe Extremity Trauma & Wound Management Activate Team)は立ち上がりました。彼

らもまた、初めは同じような不安を抱えていたかもしれませんが、だからこそ、「非専門家でも重度四肢外傷に対応できるように」という強い思いから教育活動を進め、その内容を本書にまとめたのだと思います。

本書は、J-SWATの講義内容を体系的にまとめたもので、特に初期治療に焦点を当てています。重度四肢外傷診療の基本が詰まっており、誰もが適切な判断を下せるように導いてくれるでしょう。後半には、現場で遭遇しやすいケースが具体的にまとめられており、頭の中だけで考えていたことが、実践的な知識として身につくでしょう。

この本を読めば、あなたは不安を払拭し、目の前の重度四肢外傷の患者さんに対して「自信を持って治療に臨む」「勇気を持って専門医に紹介する」というような適切な行動を取れるようになるはずです。若手医師だけでなく、重度四肢外傷に携わる可能性のある全ての整形外科医にとって、この本は確信を持って患者さんと向き合うためのバイブルとなるはずです。

この本でしっかりと学び、来るべき症例に備え、1人でも多くの患者さんを救いましょう。